

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	1168.50	2021/6/7
High	1180.09	2021/6/8
Low	1132.00	2021/6/10
Close	1152.50	2021/6/11

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4113.00	2021/6/7
High	4149.00	2021/6/8
Low	3994.00	2021/6/10
Close	4063.00	2021/6/11

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2836.00	2021/6/7
High	2851.00	2021/6/7
Low	2741.00	2021/6/10
Close	2778.00	2021/6/11

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	9978.00	2021/6/7
High	10032.00	2021/6/7
Low	9648.00	2021/6/10
Close	9785.00	2021/6/11



ニュースエクスプレス

ゴールドより高いパラジウム、さらに上がる気配

高騰しているパラジウム。取引されている主要な貴金属の中で最も高価な貴金属となり、需要が増えればさらに価格を押し上げ、ゴールドとの価格差が開くことも考えられる。

触媒コンバーターに使われるパラジウムは5月に3018ドル/オンスの最高価格をつけた後、多少落ち着いていたが、依然ゴールドよりも900ドルも高い。先月のゴールドとの価格差は去年の2月以来の最大となり、世界経済の回復で消費が向上につれさらに広がる可能性もある。

世界のパラジウム市場が供給不足となる背景には、自動車産業の回復、排ガス規制の厳格化、そして世界最大の生産会社（ノリリスク）のシベリアの鉱山が浸水被害のために生産量が減少し、供給に予期せぬ制限が生じたことがある。一方ゴールドの今後の展望はほとんど変化がなく15%上がったパラジウムと対照的である。

ABNアムロのシニア貴金属アナリストのGeorgette Boeleによると、ゴールドは今後弱含みで、ドル高と実質金利の上昇で年末には1700ドル/オンスまで下がるかもしれない。

<https://www.cedidollar.com/metal-worth-more-than-gold-is-set-to-get-even-more-expensive/>

イムプラッツ（インパラ・プラチナム）、業績不振時に発行の転換社債を償還

イムプラッツは、総発行額32億5千万ランド、2022年満期の転換社債の償還に応じる。

イムプラッツCFO、Meroonisha Kerber のヨハネスブルグ証券取引所への陳述によると「グループの財務成績が非常に良いことからバランスシートの強化を前倒しに行い当社の資金的な柔軟性を高める。」

同社は12月に社債を買い戻すことを試みたが投資家らは株価の値上がりを期待して応じなかった経緯がある。同社の株価は昨年末から約3割上昇。

同社によると2018年に発行された社債の約49%を88億ランド、額面1万ランドの社債につき5万5740ランドで買い戻している。同社の株は現在2万4497ランドで取引されており、過去5年間で約438%の上昇。

イムプラッツ株価上昇の主因は白金族金属の価格上昇で、2月には1株当たりの利益が328%上がって1855セントとなったとしている。利益は251億ランド、一株当たり3222セントとなった。前年同期はそれぞれ34億ランド、一株当たりの利益は439セントだった。

<https://www.miningmx.com/trending/46439-implats-to-redeem-convertible-bond-issued-at-pgm-firms-valuation-ebb/>

福島県とトヨタ、「福島発」の水素を活用した新たな未来のまちづくりに向けた検討開始

福島県とトヨタ自動車は6月4日、様々なパートナーとともに、「福島発」の水素・技術を活用した新たな未来のまちづくりに向けた社会実装の検討を開始したと発表した。

福島県では水素エネルギーに着目し、福島復興をさらに推し進めるため、未来の水素社会を先取りするモデル構築にチャレンジしている。カーボンニュートラルを目指すいすゞ、日野、トヨタも、3社協業の取り組みの中で「福島発」の新たな未来のまちづくりに貢献したいと考え、街の生活インフラ/災害時の避難拠点であるスーパーマーケット・コンビニエンスストアでの配送等にて、日本に多く存在する30万人の都市での水素のある暮らしの実装モデルを創り、同様の都市への展開を目指す。

具体的には、福島水素エネルギー研究フィールド（FH2R）で造られた水素も活用し、配送用として複数台の燃料電池（FC）トラックを導入するとともに、コネクティッド技術による運行管理や水素充填タイミングの最適化等、各地域の実情に応じたエネルギーマネジメントを実践する。

このほかFH2Rが立地する浪江町をはじめ県内各地域のニーズや困りごとへの対応として、FCのキッチンカーやドクターカー等の運用、福島県内の店舗や工場等で水素を活用することによるサプライチェーン全体での低炭素化にも取り組んでいく。

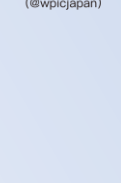
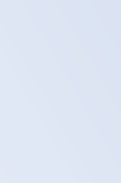
<https://response.jp/article/2021/06/04/346445.html>

Translated by Kazuko Osawa, JBMA



WPIC直近の活動

- WPICはSBMA（Singapore Bullion Market Association）が6月16日と17日にオンライン主催するAsia Pacific Precious Metal Conference 2021をスポンサーしています。リサーチヘッドであるTrevor Raymond氏は6月16日午後のパネルディスカッションに登壇します。プラチナの供需や価格などを詳しく解説します。ご参加の申し込みはこちらから  
<https://www.asiapacificpmc.com/index.html>



(@wpicjapan)

免責事項：本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。